

(特許出願中)

Hyper S-Stage KIT (106cc / SCUT) 取扱説明書

- ・このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

商品番号 : 01 05 5402 (スポンジタイプフィルター)
適応車種 フレーム番号
CRF50F : AE03 1400001~
XR50R : AE03 1000001~

▲ おことわり ▲

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR - U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はCR8HSA (NGK) または、U24FS - U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

▲ 当キット使用についてのご注意 ▲

本キット取り付けには、強化クラッチ (フリクション3枚タイプ) と強化オイルポンプが必要となります。この取り付け部品をつけていない場合、保証の対象にはなりません。

▲ スプロケットについてのご注意 ▲

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付けるには、スロットルパイプのストッパー部の加工を必要とします。又、この加工によりアクセルリミッターの使用が、出来なくなりますのでご注意ください。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
取り付けの際には、上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
取り付けの際には、別紙記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
シリンダー部より聞こえてくる音が大きく感じる事があります。
外気温が高い場合はオイルクーラーの取り付けと使用をお勧めします。
製品内のフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。エンジン不調の原因となりますのでご注意ください。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

Lesson

普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。

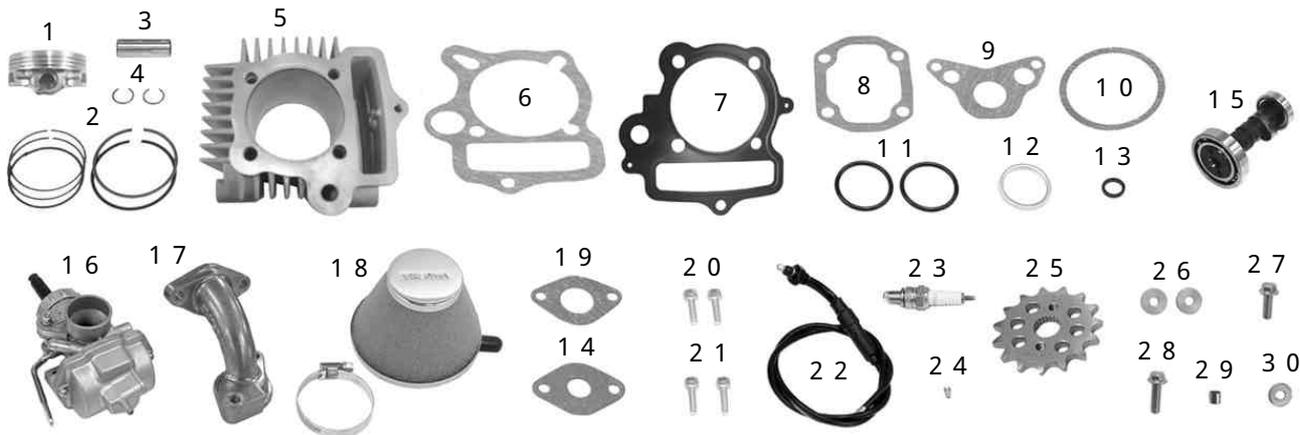
ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるところまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。

ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めるかと折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

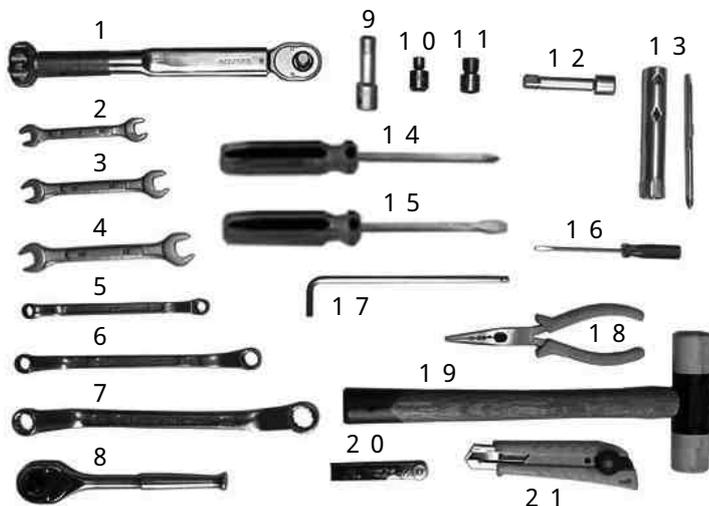
キット内容



番号	部品名	個数	リペア品番	入数	番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13109 181 T01	1	16	キャブレター-ASSY.	1	03 03 031	1
2	ピストンリング	1	01 15 017	1	17	インテイクマニホールド	1	03 005 0001	1
3	ピストンピン	1	000 02 102	1	18	エアフィルター (バンド付)	1	03 01 1105	1
4	ピストンピンサークリップ	2	000 02 120	6	19	キャブレター-ガスケット	1	03 005 0238	1
5	シリンダー	1			20	ソケットキャップスクリュー 6×2.0	2	BW 00 0015	10
6	シリンダーガスケット	1		1	21	ソケットキャップスクリュー 6×2.5	2	BW 00 0005	10
7	シリンダーヘッドガスケット	1		1	22	スロットルケーブル 710mm	1	09 02 0071	1
8	ヘッドカバーガスケット	1		1	23	スパークプラグ CR8HSA	1	NGK CR8HSA	1
9	右サイドカバーガスケット	1		1	24	メインジェット #85	1	KMJS85	1
10	左サイドカバーガスケット	1	01 13 0607	1	25	ドライブスプロケット 15T	1	02 05 022	1
11	タペットキャップOリング	2		2	26	タンクスベーター	2	16954 GEL T00	1
12	エキゾーストパイプガスケット	1		1	27	フランジボルト 8×2.5	1	BW 00 0032	5
13	ラバーパッキン	1		1	28	フランジボルト 8×3.0	1	BW 00 0064	4
14	インレットパイプガスケット	1		1	29	スベーター 8.2×1.0×9.5	1	BW 01 0020	4
15	カムシャフト	1	01 08 033	1	30	ワッシャ	1	BW 01 0021	6

補修パーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様お願い致します。

取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	13	スパークプラグレンチセット (車載工具)
2	スパナレンチ 8 - 10mm	14	ドライバー-プラス 中
3	スパナレンチ 10 - 12mm	15	ドライバー-マイナス 中
4	スパナレンチ 12 - 14mm	16	細軸ドライバー-マイナス
5	オフセットレンチ 8 - 9mm	17	六角棒レンチ 5mm
6	オフセットレンチ 10 - 12mm	18	ニードルノーズプライヤ
7	オフセットレンチ 14 - 17mm	19	プラスチックハンマー
8	ラチェットハンドル	20	シクネスゲージ
9	ディープソケット 8mm	21	カッターナイフまたはスクレーパー
10	ソケット 8mm		針金等
11	ソケット 10mm		ウエス
12	エクステンションバー 小		エンジンオイル

各部品名称

右シリンダーヘッド
サイドカバーガスケット

右シリンダーヘッドサイドカバー
シールリング (銅又はアルミ)
ワッシャ 6.5 x 1.2

フランジボルト 6 x 1.10

フランジボルト 6 x 2.0

バルブロッカーアームシャフト

タペットアジャスティングナット

タペットアジャスティング
スクリュュー

バルブロッカーアーム

シリンダーヘッドカバー

シールリングワッシャ 6MM

キャップナット
6MM

シールリングワッシャA 6MM
(銅メッキ)

六角ナット 6MM

シリンダーヘッドカバー
ガスケット

Oリング 30MM

タペットアジャスティング
ホールキャップ

エキゾーストパイプガスケット

3スパークプラグ

タペットアジャスティング
ホールキャップ

Oリング 30MM

インレットパイプガスケット

シリンダーヘッドガスケット

1 ノックピン
8 x 1.4

2

シリンダー

ピストンリングセット

ピストンピンサークリップ

ピストンピン

ピストン

ラバーパッキン 16MM

シリンダーガスケット

1 ノックピン
8 x 1.2

ガイドローラーボルト

ワッシャ 8MM

ボルト 6MM

1 ノックピン
8 x 1.4

カムチェーン
ガイドローラーCOMP.

ボルト 6MM

1 ノックピンは使用する場所により全長が異なります。
ご注意ください。

2 このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意ください。

3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR U
(DENSO) に必ず交換して下さい。

カムシャフトCOMP.

カムプロケット

ノックボルト 5MM

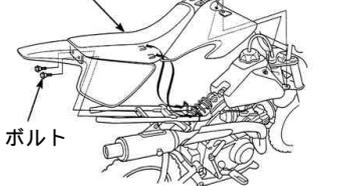
左シリンダーヘッド
サイドカバーガスケット

左シリンダーヘッドサイドカバー

STD部品取り外し

1. 外装部品を取り外す

シート/シュラウド/
リアフェンダー-ASSY.



トリムクリップ
トリムクリップ
スクリュー
ボルト

トリムクリップ2本、スクリュー2本、ボルト2本を取り外し、シート/シュラウド/リアフェンダー-ASSY.を取り外す。

インナーピン



トリムクリップはインナーピンをマイナスドライバー等で上げて取り外せる。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
ドライバープラス 中



フューエルロックをOFFにする。



チューブクリップをずらし、キャブレターのフューエルチューブの接続を外す。

ボルト

カラー
ワッシャ



キャブレターからフューエルホースを外し、ボルト2本を取り外してフューエルタンクを取り外す。

2. キャブレターを取り外す



キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取る。



ストレージタンクのホースを抜き取る。



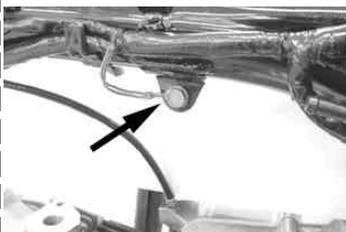
エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー 小



インレットパイプをシリンダーヘッドにためているボルト2本を取り外しインレットパイプ、キャブレター、エアクリーナーを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 8mm



アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付ける。

使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー 小

規定トルク 12N・m(1.2kgf・m)

3. マフラーを取り外す



E Xパイプ部のナット2個を取り外す。

使用工具
スパナレンチ 10mm



マフラスターのボルトを取り外し、マフラーを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 12mm

4. フロントフェンダーを取り外す



裏側のボルト3本を取り外し、フロントフェンダーを取り外す。

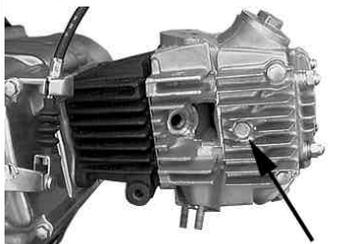
使用工具
ソケット 10mm
エクステンションバー 小



プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外すこと。

車載工具のスパークプラグレンチを使いプラグを取り外す。

5. スパークプラグを取り外す



シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2-3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)

使用工具
ソケット 10mm

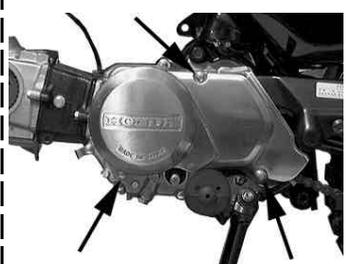


7. クランクケース左カバーを取り外す



シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 10mm



クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り外す。

使用工具
ディープソケット 8mm

8. タレットキャップ2個を取り外す



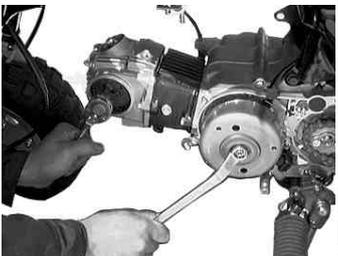
タレットキャップ2個を取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 17mm

9. カムプロケットを取り外す



フライホイールのTマークとカムプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

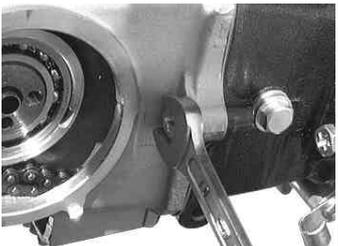


フライホイールを固定しカムプロケット6角ボルト2個を取り外す。
使用工具
ソケット 8mm
オフセットレンチ 14mm (フライホイール固定用)

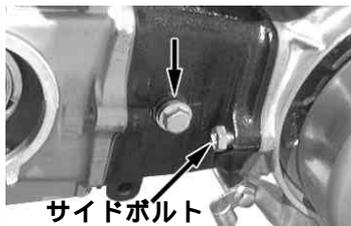


カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
カムチェーンをカムプロケットから外してカムプロケットを取り出す。
カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

10. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。
使用工具
スパナレンチ 10mm



シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトをゆるめる。

使用工具
スパナレンチ 10mm
オフセットレンチ 10mm

11. シリンダーヘッドカバーを取り外す



シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

使用工具
10mmボックスレンチ



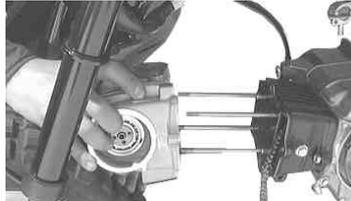
ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

12. シリンダーヘッドを取り外す

フロントタイヤの空気を抜く。(プラスチックドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音がでなくなるまで押し続けます。)



シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただきたいと思います。ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

13. シリンダーを取り外す



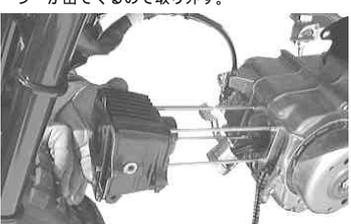
ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)

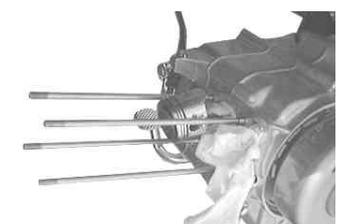


シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

14. ピストンを取り外す



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。

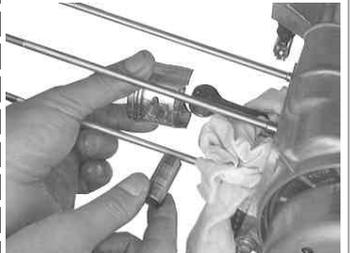


ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れる。

使用工具
先の細いマイナスドライバー



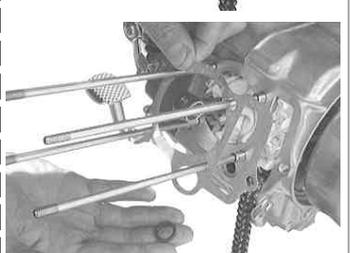
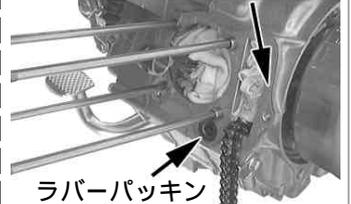
ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



ピストンを取り外す。

15. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

シリンダーガスケット



ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

16. クラッチ及びオイルポンプの取り付け

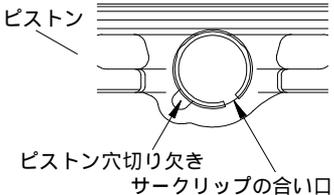
当キットを使用するには、オイルポンプとクラッチの強化が必要です。クラッチ及びオイルポンプは、現時点での作業からの取り付けが大変行い易いです。

S - StageKIT 取り付け

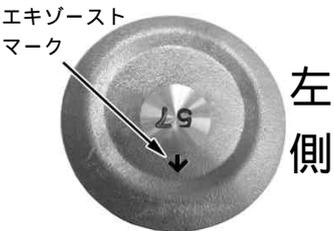
1. ピストンを組み付ける



ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けする事。



ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。

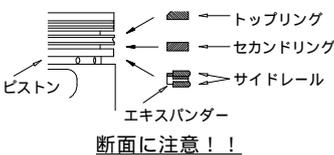
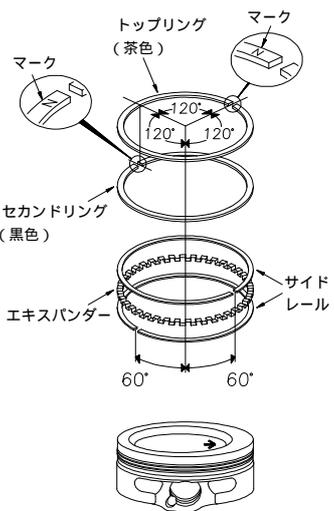


ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。ピストンピンサークリップは左側を先にはめ込みます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー

ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

ピストンリングの合い口をそろえる



オイルリングエキスパンダーを入れる。



下オイルリングサイドレールを入れる。



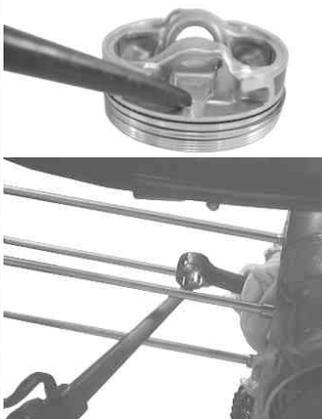
上オイルリングサイドレールを入れる。



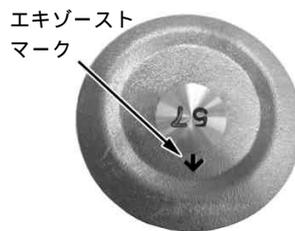
セカンドリングを入れる。



トップリングを入れる。



ピストンピン部とコンロッド小端部にエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



ピストンヘッド部矢印マークの先を下(エキゾースト側)になるようにしてピストンを取り付ける。



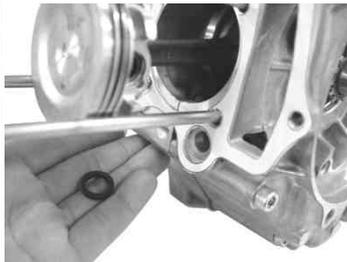
ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



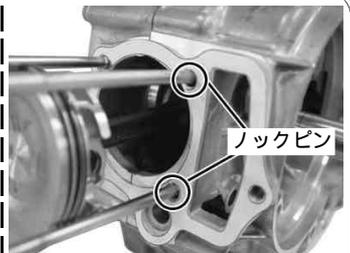
ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う事。目に入らぬように防護メガなどを着用する事。詰めていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



ロックピン2個が取り付けられているか点検。



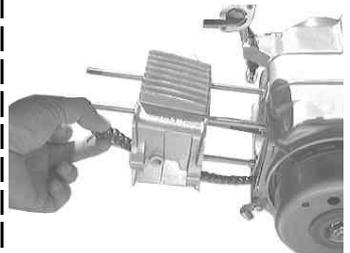
キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



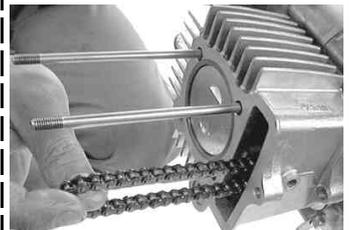
タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



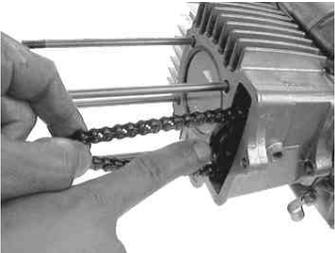
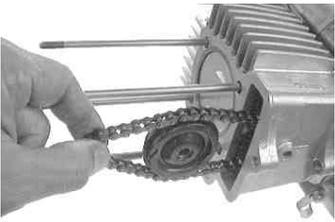
シリンダーをピストンリングの合い口がずれないようにしながら指で押し1本づつはめる。



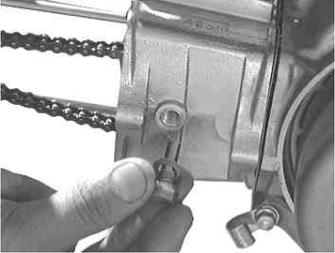
ピストンがシリンダーにはいたらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースに取り付ける。



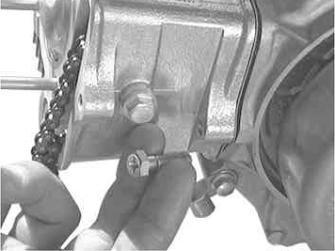
カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。



シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



ガイドローラーボルトを取り付ける。
(指で閉まる程度まで仮止め)



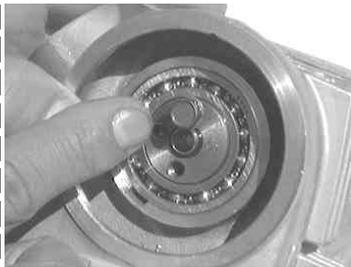
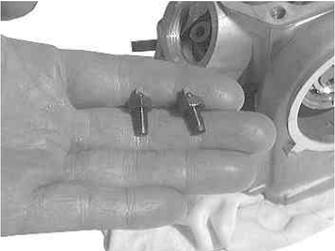
シリンダーサイドボルトを取り付ける。
(指でしめる程度まで仮止め)

3. カムシャフト交換



シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットアジャスティングナットとタペットアジャスティングスクリューを取り外す。タペットアジャスティングナットを緩めた時点でタペットアジャスティングスクリューと一緒に取り外す。

使用工具
9 mmメガネレンチ



カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもしハンマー等でたたかず手で入れる。



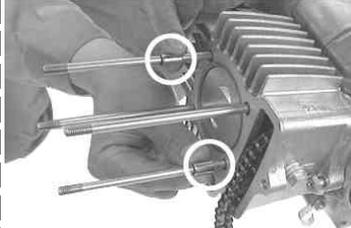
ノーマルカムのノックピンをキットカムに取り付ける。



ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付ける。

4. シリンダーヘッド取り付け

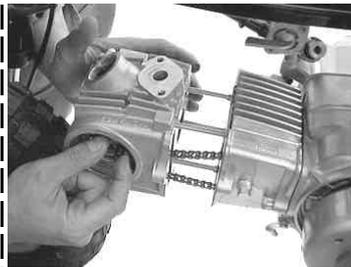
シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



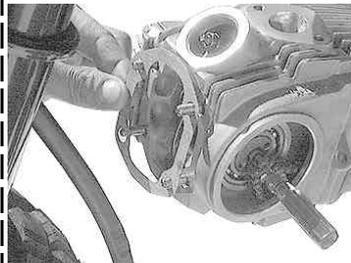
ヘッドガスケットを取り付ける。



タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。

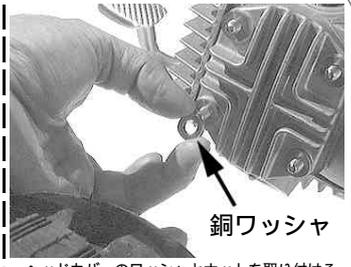
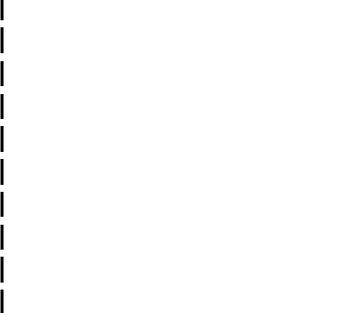
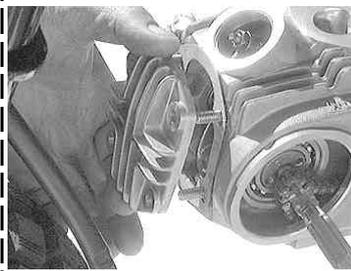


シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



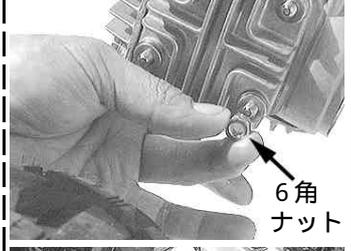
上下マークに注意

矢印は下の方向です。

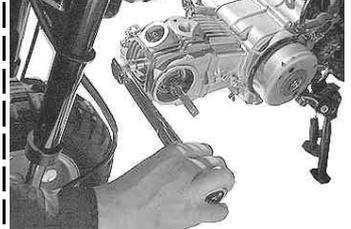


銅ワッシャ

ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が6角ナット残りの3つがふくろナット)



6角ナット



ヘッドナットを均等に締め付ける。(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

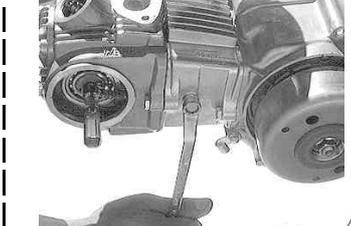
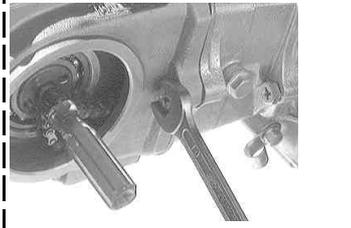
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

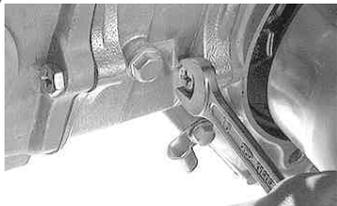
使用工具
10 mmボックスレンチ



ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具
10 mmスパナレンチ
10 mmメガネレンチ





締め付けトルク
ガイドローラーボルト
10N・m(1.0kgf・m)
サイドボルト上下
10N・m(1.0kgf・m)

5. カムプロケットの取り付け



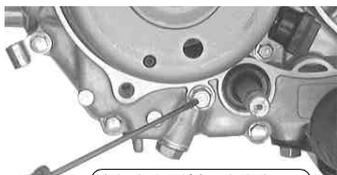
フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わす。



カムプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。

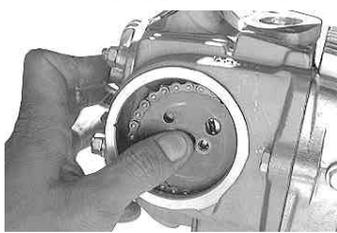


カムシャフトにロックピンを取り付ける。

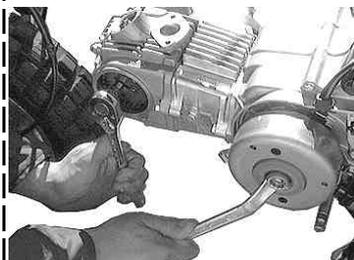


少しオイルが出てきますので締め後は拭き取して下さい。

チェンベダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンションがゆるむのはめやすくなる。

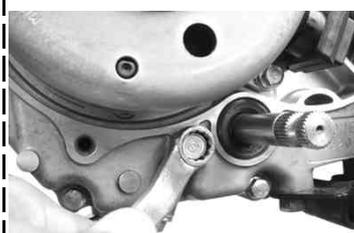


カムプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。カムプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。



フライホイールを固定してカムプロケットボルトを2本締め付ける。
締め付けトルク 9N・m(0.9kgf・m)

使用工具
8mmボックスレンチ
14mmメガネレンチ



先程、取り外したチェンベダルシャフト横の六角ボルトを取り付ける。
締め付けトルク 10N・m
(1.0kgf・m)

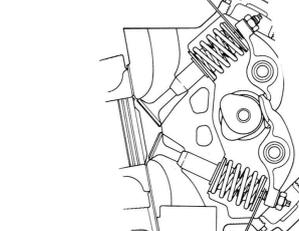
使用工具
10mmメガネレンチ

6. タペット隙間の調整



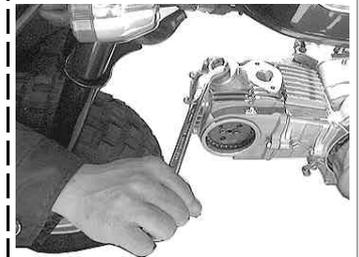
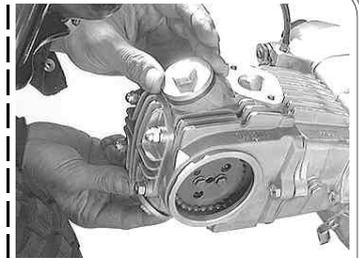
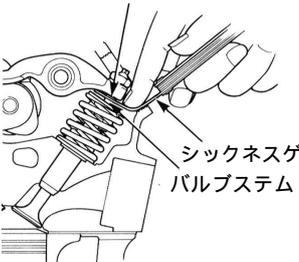
カムプロケットのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切り欠きに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットとフライホイールが同時に合えばOK。

バルブクリアランス (インテーク側)



バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー



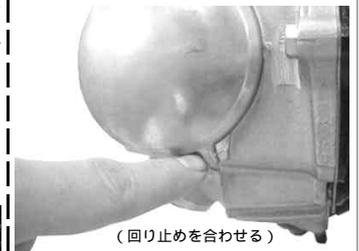
タペットキャップ2個を取り付ける。
締め付けトルク 12N・m
(1.2kgf・m)

使用工具
17mmメガネレンチ

7. シリンダーヘッド左カバー取り付け



シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めるときに右回りにしないように回り止めを合わせる)

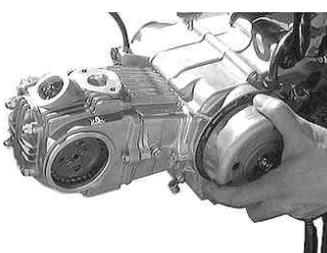


(回り止めを合わせる)

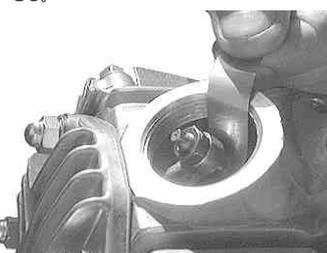


ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける(少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるく入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる)IN・EX共に0.05ミリに合わせる。

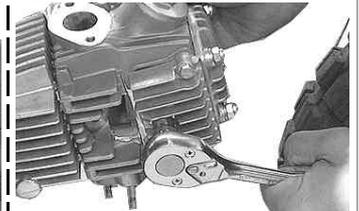
使用工具
ラジオペンチ, 9mmメガネレンチ
シクネスゲージ



タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。



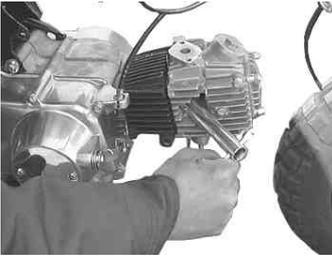
タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は再度調整する。



シリンダーヘッド右側の六角ボルト(矢印)を締める。
締め付けトルク 12N・m
(1.2kgf・m)

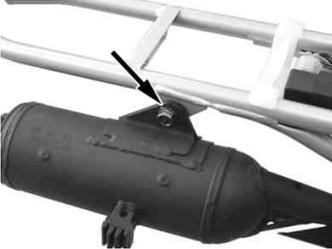
使用工具
10mmボックスレンチ

8 . スパークプラグの取り付け



車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
 締め付けトルク $11\text{ N}\cdot\text{m}$
 ($1.1\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
 使用工具 プラグレンチ
 プラグキャップをプラグに取り付ける。

9 . ノーマルマフラーの取り付け



マフラーを取り付け、マフラスターのボルトを取り付ける。(仮止め)
 使用工具 オフセットレンチ 12 mm



E Xパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)
 使用工具 スパナレンチ 10 mm
 仮止め箇所を締め付ける。
 締め付けトルク
 ボルト: $26\text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.7\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
 ナット: $10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

10 . フロントフェンダーの取り付け



ボルト3本で、フロントフェンダーを取り付ける。
 使用工具 ソケット 10 mm
 エクステンションバー 小

11 . スロットルケーブルの取り付け

ノーマルスロットルケーブルのワイヤリングを外す。



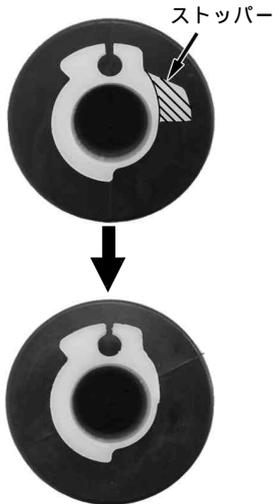
六角ナットをゆるめる。
 使用工具 スパナレンチ 14 mm



スクリュー2本を外し、アッパースロットルハウジングを取り外す。



スロットルパイプからスロットルケーブルのインナーケーブルを外す。



スロットルパイプをハンドルから抜き取り、写真のようにスロットルパイプのストッパー部を加工し、取り除く。



ロアスロットルハウジングからノーマルスロットルケーブルを取り外す。



キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。



インナーケーブルを加工したスロットルパイプに接続する。

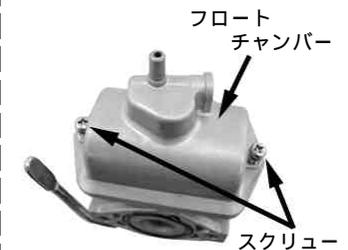


アッパースロットルハウジングを2本のスクリューで取り付ける。
 このとき、前側のスクリューを先に締め付け、後側のスクリューを後に締め付ける。



ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジングの分割部をハンドルの"O"マークに合わせる。
 スロットルケーブルのワイヤリングをする。

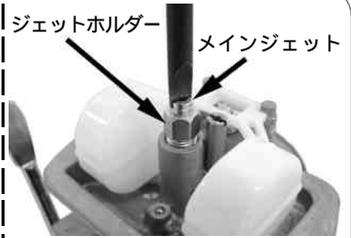
12 . メインジェットの交換



2本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外す。
 使用工具 ドライバープラス 中



フロートピンは外れやすいので注意して下さい。



メインジェットをジェットホルダーから取り外す。
 使用工具 ドライバーマイナス 中



キットのメインジェットを取り付ける。
 使用工具 ドライバーマイナス 中



フロートチャンバーを取り付け、2本のスクリューでキャブレターに取り付ける。

13 . キャブレターの取り付け



インテイクマニホールドとシリンダーヘッドにインレットパイプガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリュー 6×2.5 2本で取り付ける。
 使用工具 六角棒レンチ 5 mm
 締め付けトルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
 ($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



PC18キャブレターとインテイクマニホールドにキャブレターガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリュー 6×2.0 2本で取り付ける。
 使用工具 六角棒レンチ 5 mm
 締め付けトルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
 ($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



PC18キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、スロットルバルブを抜き取る。



スロットルケーブルにトップキャップを取り付け、スプリングを入れてインナーケーブルにスロットルバルブを取り付ける。



スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに差し込み、取り付け。



キャブレターのくぼみにトップキャップの凸を合わせて取り付け。

14. スロットルの遊びの調整

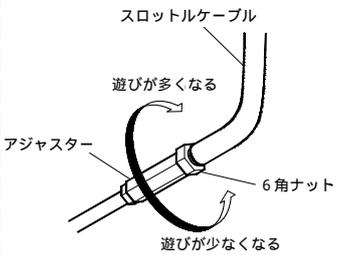


スロットルケーブルのブーツをめくり、アジャスターを出す。

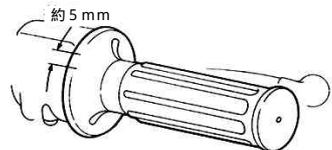


六角ナットを保持し、アジャスターをゆるめる。

使用工具
スパナレンチ 8mm
スパナレンチ 10mm



アジャスターを回すと遊びが調節出来る。



スロットルグリップ部で5mm程度の遊びになるように調整する。

アジャスターを固定し、六角ナットを締め付ける。

使用工具
スパナレンチ 8mm
スパナレンチ 10mm

スロットルをスナップさせ、スロットルバルブがスムーズに動くか確認する。

ハンドルを左右にいっぱい切ってもスロットルに遊びがあることを確認する。

ブーツをかぶせる。

15. エアークフィルターの取り付け

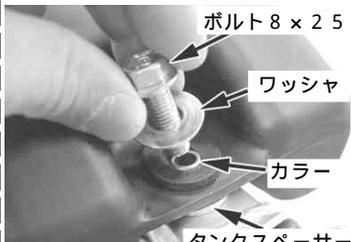
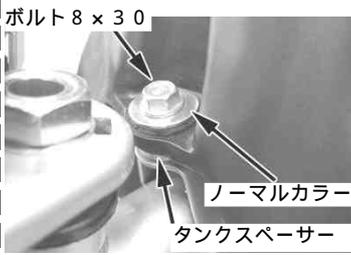


バンドをエアークフィルターの付け、キャブレターに差し込む。バンドを締め付ける。



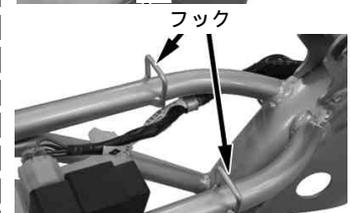
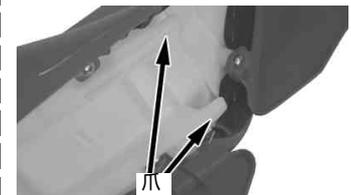
ストレージタンクのホースをエアークフィルターに取り付ける。

16. 外装品の取り付け

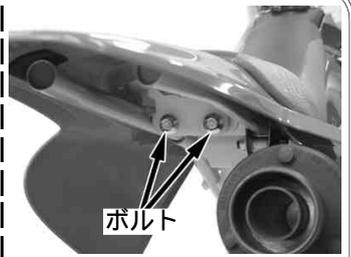


燃料タンクの前方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、ボルトを取り付ける。後方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、スペーサーとキット内のワッシャーを入れてボルトを取り付ける。
締め付けトルク 2.6 N・m (2.7 kgf・m)

シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート/シュラウド/リアフェンダーASSYをトリムクリップ2個、スクリュー2本、ボルト2本で取り付ける。



シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート/シュラウド/リアフェンダーASSYを取り付ける。



ボルト



スクリュー(左右)



トリムクリップ(左右)

ボルト2本、スクリュー2本、トリムクリップ2本を取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
ドライバープラス 中

締め付けトルク
ボルト : 10 N・m (1.0 kgf・m)
スクリュー : 4 N・m (0.4 kgf・m)



シュラウドを引っ張りながら取り付け穴を燃料タンクのネジ穴に合わせてスクリュー2本を取り付ける。取り付けにくい場合は、ヤスリ等で長穴加工して下さい。



燃料チューブをキャブレターに接続する。

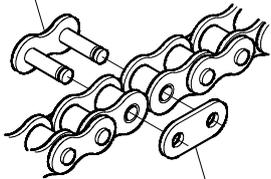
17. ドライブ（エンジン側） スプロケットの取り付け



クリップ

ドライブチェーンのクリップを取り外す。

マスターリンク



リンクプレート

リンクプレートとマスターリンクを取り外し、
ドライブチェーンを取り外す。

作業の際は必ずエンジンを停止すること。



ギアを（1速）に入れ、ボルト2本を取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小



プレートを取り外す。



ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、
キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



キットのプレートを取り付け、ボルト2本を取り
付ける。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小
締め付けトルク 12N・m
(1.2kgf・m)

リアアスルナット、チェーンアジャスターの
ナットを緩めておく。

マスターリンクを内側から取り付けてドライブ
チェーンを接続し、リンクプレートを取り付ける。

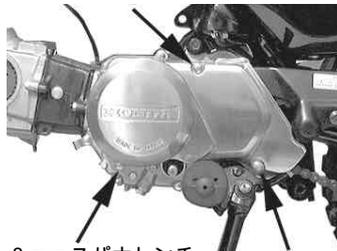


クリップ

進行方向

クリップを取り付ける。
この時、クリップの合い口は進行方向に対して
逆に向けること。
ドライブチェーンの調整を行う。

18. クランクケース左カバーの取り 付け



8mmスパナレンチ

クランクケース左カバーを止めているボルト3本
を取り付ける。

使用工具
ボックスレンチ 8mm
エクステンションバー 小
締め付けトルク 10N・m
(1.0kgf・m)



チェンジベダルを取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
締め付けトルク 10N・m
(1.0kgf・m)

エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に
緩みがないかチェックする。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にもまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857